

経済学部経済学科 3年 T.Y
『何者』 朝井リョウ 著

大学生になると嫌でも考えなくてはならない就職活動が待ち受けています。そんな就職活動が始まる前の1、2年生に読んでもらいたいのがこの小説です。

小説の内容としては5人の学生の就活物語となっています。しかし、この5人はただ就職活動をしているわけではなく、最近の若者の就職活動の行い方であったり、ツイッター、インスタグラムのようなSNSを通しての人間関係に関しても描かれています。そんな5人の学生が情報を交換したりなどと、就職活動を乗り越えようとするところから物語は始まります。

なぜ1、2年生にこの小説をおすすめするのか。それは、就職活動とはどういうものであるか、大変さなどが小説を通して伝わってくるためです。現在コロナウイルスの影響もあり、今後の活動が難しくなっていくということも考えられます。さらには、2020年はオンラインでの授業や、人と接することが難しいこともあり、就職活動がどのようなものなのかを知ることができる機会も少なかったと思います。そのため、本格的に活動が始まる前の大学1、2年生にこの小説を読んでもらうことで、今後の大学生活に活かせるのではないかと思います。また、この小説を読み進めていくと、タイトルでもある「何者」という意味が理解できるとこもオススメの一つです。

単行本版

生田分館：J/913.6/A83 701302358ほか

文庫版

生田分館：X/080/Sh61/Asa 701444655



新潮文庫